

《文をつなぐ言葉》ことば

文章には「だから」や「しかし」などのように、文と文などをつなぐ言葉が入ります。この文をつなぐ言葉によって、前後の文やだん落のかんけいがわかります。

おもに文をつなぐ言葉には、次のようなはたらきがあります。

- ・ 前のことと後ろのことが理由や原いんとけっかになっている。
(だから・すると・そこで など)
- ・ 前のことと後ろのことが反対の内ようになっている。
(けれども・それなのに・ところが・しかし など)
- ・ 前のことに後ろのことをつけたす。
(そして・そのうえ など)
- ・ 前のことか後ろのことかをえらぶ。
(それとも・または など)
- ・ 話題を変える。
(では・ところで など)
- ・ 前のことと後ろのことをならべる。
(また・ならびに など)
- ・ 前のことを言いかえたり、せつ明したりする。
(たとえば・なぜなら など)

【れい題】

次の()にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

電車で行きますか。()バスで行きますか。

- ア だから イ すると
ウ それとも エ たとえば

【答え】ウ

【かいせつ】

前の文では「電車で行きますか」と聞いて、後ろの文では「バスで行きますか」と聞いています。そのため、()には前のことか後ろのことかをえらぶ「それとも」が入ります。

【れんしゅうしよつ】

次の()にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

- (1) 目ざましが大きな音で鳴りひびいている。()急いでそれを止めた。
(2) 目ざましが大きな音で鳴りひびいている。()弟はまったく起きてこない。
(3) 雨の音を表す言葉はさまざまだ。()、ぎーぎーやぱらぱらなどがそれである。
(4) いまからテストを始めます。みなさん用意はいいですね。()、始めてください。
ア けれども イ たとえば
ウ だから エ では

- 【かい】
(1) ウ (2) ア (3) イ (4) エ



1 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

（１）わたしはおかしが大すきです。（ ）、あめやチョコレート、クッキーやケーキなど、あまいおかしがとくにすきです。

（２）今日は習字の時間があります。習字のすみが服につくと落ちなくてこまるといってもお母さんが言います。（ ）、習字がある日はすみがついても分からないように黒い服を着ていくようにしています。

（３）八時に家を出て学校に行くと、いつもとちゅうでシンゴくんに会います。（ ）、今日は会えませんでした。

（４）「朝礼を始めます。（ ）、校長先生からのお話があります。」

ア だから イ けれど
ウ はじめに エ たとえば

①
②
③
④

2 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

夏休みに家族でおじいちゃんの家に行きました。おじいちゃんの家へ行くときはひこうきで行きます。ひこうきがとび立つ時は、いつも少しこわい気がします。（ ）、

まどから外のけしきを見ると、こわかった気持ちはずっかりなくなつて、ふだんはなかなか見ることができない雲の上のけしきにむちゅうになつてしまいます。

ひこうきに乗っていると、キャビンアテンダントのおねえさんが飲み物を配りに来てくれます。その飲み物にはいろいろなしゅるいがあります。（ ２ ）、オレンジジュース、お茶、コーヒー、こう茶などです。ぼくはいつもオレンジジュースをもらいます。とてもおいしいです。

ア たとえば イ それから
ウ けれども エ そのうえ

①
②

3 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

ぼくはおとなになつたら医者になつて人の命を助けたいと思つています。（ ー ）、人の体のしくみの事が書いてある本を読んだりしています。この間、テレビで医者の仕事についてとく集した番組を見て、医者つてたいへんだなと思ひました。（ ２ ）、やりがいがあると思うのでぼくはがんばつて医者になりたいです。

ア もともと イ それから
ウ だから エ けれども

①
②



1 次の()にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。ただし、同じ記号は使えません。

(1) ぼくは野さいがきらいだ。このことはもちろんお母さんも知っている。()、夜ごはんは野さいいためときゅうりのサラダだった。

(2) あしたは遠足なのに雨がふっている。()、てるてるぼうずを作って雨がふらないことをいのった。あしたは晴れてほしいな。

(3) ここまでは分かりましたね。()、問題をといてみましょう。

(4) カエルはりくでこきゅうをすることができません。()、水の中でもこきゅうすることが出来ます。

ア また イ だから
ウ それなのに エ では

①
②
③
④

2 次の()にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

ぼくは雨やどりをしていた。かさを持っていなかったのだ。すぐやむだろうと思いい、しばらく待ってみた。()、空がどんどん暗くなってきて雨が強くなってしまった。

このまま外に出たらずぶぬれだ。(2)、ぼくはどうしたらよいのだろう。こまってしまった。もう少しここにいるしかなさそうだ。

ア はじめに イ では
ウ すると エ そして

①
②

3 次の()にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

妹とけんかをした。妹がぼくの大事なマンガをかってに外に持っていったからだ。たしかに家の中では妹もいっしょに読んでいた。(1)、ぼくがおこづかいで買ったマンガだ。(2)、お母さんは妹にもかしてあげてと言う。家の中ならゆるすけど、外に持っていくのはだめだ。

ア けれども イ それなのに
ウ すると エ また

①
②



1 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

（1）八時に家を出て学校に行くと、いつもとちゅうでナミさんに会います。（ ）、今日は会えませんでした。

（2）「朝礼を始めます。（ ）、校長先生からのお話があります。」

（3）今日は習字の時間があります。習字のすみが服につくと落ちなくてこまるといってもお母さんが言います。（ ）習字がある日はすみがついても分からないように黒い服を着ていくようにしています。

（4）わたしはおかしが大すきです。（ ）、あめやチョコレート、クッキーやケーキなど、あまいおかしがとくにすきです。

ア だから イ けれど
ウ はじめに エ たとえば

①
②
③
④

2 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

ぼくはおとなになったら医者になって人の命を助けたいと思っています。（ ）、人の体のしくみの事が書いてある本を読んだりしています。この間、テレビで医者の仕

事についてとく集した番組を見て、医者ってたいへんだなと思いました。（ 2 ）、やりがいがあると思うのでぼくはがんばって医者になりたいです。

ア だから イ もともと
ウ それから エ けれども

①
②

3 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

夏休みに家族でおじいちゃんの家に行きました。おじいちゃんの家へ行くときはひこうきで行きます。ひこうきがとび立つ時はいつも少しこわい気がします。（ ）、まどから外のけしきを見ると、こわかった気持ちはずっかりなくなつて、ふだんはなかなか見ることができない雲の上のけしきにむちゅうになつてしまいます。

ひこうきにの乗っていると、キャビンアテンダントのおねえさんが飲み物を配りに来てくれます。その飲み物にはいろいろなしゅるいがあります。（ 2 ）、オレンジジュース、お茶、コーヒー、こう茶などです。ぼくはいつもオレンジジュースをもらいます。とてもおいしいです。

ア たとえば イ そのうえ
ウ それから エ けれども

①
②



1 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。ただし、同じ記号は使えません。

（１）あしたは遠足なのに雨がふっている。（ ）、雨がふらないことをいのった。あしたは晴れてほしい。

（２）ぼくが野さいがきらいだ。このことはもちろんお母さんも知っている。（ ）、夜ごはんは野さいのためときゅうりのサラダだった。

（３）カエルはりくでこきゅうをすることができます。（ ）、水の中でもこきゅうすることができます。

（４）ここまででは分かりましたね。（ ）、問題をといてみましょう。

ア それなのに イ また
ウ だから エ では

①
②
③
④

2 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

弟とけんかをした。弟がわたしの大事なマンガをかってに外に持っていったからだ。たしかに家の中では弟もいっしょに読んでいた。（ ）、わたしがおこづかいで買ったマンガだ。（ 2 ）、お母さんは弟にもかしてあげてと

言う。家の中ならゆるすけど、外に持っていくのはだめだ。

ア すると イ また
ウ けれども エ それなのに

①
②

3 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

わたしは雨やどりをしていました。かきを持っていなかったのです。すぐやむと思って、しばらく待ってみました。（ ）、空がどんどん暗くなってきて雨が強くなってきました。このまま外に出たらずぶぬれです。（ 2 ）、わたしはどうしたらよいのでしょうか。こまってしまいました。もう少しここにいろしかありません。

ア すると イ そして
ウ はじめに エ では

①
②



1 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。ただし、同じ記号は使えません。

（１）テレビやゲームの画面をあまり長い時間見つづけると目がとてもつかれます。（ ）、一時間に一回は休けいしましょう。

（２）シェイクスピアはイギリスの作家です。だから、かれの作品は英語で書かれています。（ ）、わたしたちがかれの作品を日本語で読めるのは、だれかが日本語にくしてくれたからです。

（３）風がふいていて、（ ）、雨もふっている。

（４）東の空が少しずつ明るくなってきたようです。（ ）、夜が明けるでしょう。

ア それなのに イ さらに
ウ やがて エ だから

①
②
③
④

2 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

となりのせきのアカリさんはとてもいい子です。（１）、テストでいつもよい点をとっています。だれにでもやさしくしてくれるので、みんなの人気者です。（２）、ひと

つだけ苦手なことがあります。それはリコーダーです。どうしてもみんなよりおくれをしています。（３）、いっしょうけんめい練習しています。

ア だから イ たとえば
ウ ところが エ そのうえ

①
②
③

3 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

この前、海が見えるホテルに家族でとまりました。夕方、少し時間があきました。（１）、部屋から海と空をながめることにしました。夕日が海にしずんでとてもきれいでした。（２）、空はだんだん暗くなっていきました。

ア ところが イ やがて
ウ また エ そこで

①
②



1 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。ただし、同じ記号は使えません。

（1）東の空が少しずつ明るくなってきたようです。（ ）、夜が明けるでしょう。

（2）シェイクスピアはイギリスの作家です。だから、かれの作品は英語で書かれています。（ ）、わたしたちがかれの作品を日本語で読めるのは、だれかが日本語にやってくれたからです。

（3）テレビやゲームの画面をあまり長い時間見つづけると目がとてもつかれます。（ ）、一時間に一回は休けいしましょう。

（4）風がふいていて、（ ）、雨もふっている。

ア さらに イ やがて
ウ それなのに エ だから

①
②
③
④

2 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

この前、海が見えるホテルに家族でとまりました。夕方、少し時間があきました。（ ）、部屋から海と空をなが

めることにしました。夕日が海にしずんでとてもきれいでした。（2）、空はだんだん暗くなっていきました。

ア やがて イ ところが
ウ そこで エ また

①
②

3 次の（ ）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

となりのせきのアカリさんはとてもいい子です。（ ）、テストでいつもよい点をとっています。だれにでもやさしくしてくれるので、みんなの人気者です。（2）、ひとつだけ苦手なことがあります。それはリコーダーです。どうしてもみんなよりおくれしてしまいます。（3）、いっしょうけんめい練習しています。

ア たとえば イ だから
ウ そのうえ エ ところが

①
②
③